

動物実験に関する検証結果報告書

（武庫川女子大学）

動物実験に関する相互検証プログラム

（国立大学法人動物実験施設協議会・公私立大学実験動物施設協議会）

平成 27 年 3 月

平成 27 年 3 月 25 日

武庫川女子大学

学長 糸魚川 直祐 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価結果報告書
に対する検証結果を通知します。

国立大学法人動物実験施設協議会・公立大学実験動物施設協議会

動物実験に関する相互検証プログラム

検証委員会 委員長



対象機関：武庫川女子大学

申請年月日：平成 26 年 7 月 14 日

訪問調査年月日：平成 26 年 12 月 1 日

調査員：宮崎 修一 (東邦大学)

大和田 一雄 (山形大学)

検証の総評

武庫川女子大学は、文学部、健康・スポーツ科学部、生活環境学部、音楽学部、薬学部からなり、生活環境学部、薬学部、健康・スポーツ科学部の教育・研究において動物実験が行われている。文部科学省の基本指針に則した動物実施体制が整備され、概ね良好に運用されている。教育訓練の実施状況や動物実験計画書の審査も適正であり、教育訓練や審査に関する細部におよぶ工夫や改善を重ねている点は特に高く評価できる。

動物実験の実施状況や自己点検・評価の内容について情報公開はされているが、その項目が十分とはいえないことから、開示情報の充実改善を望む。

なお、自己点検・評価について、細部におよぶ改善事項の抽出が真摯に行われており、関係者の熱意が伺われる。本検証では基本指針および実験動物飼養保管基準への適合性を確認することにとどめたが、機関としての改善の取り組みをさらに進めることを期待したい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「武庫川女子大学動物実験規程」（平成 19 年 10 月 1 日制定、最新改訂平成 26 年 4 月 1 日）は文部科学省基本指針に適合しており、動物実験に関する機関内規程が適正に整備されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「武庫川女子大学動物実験規程」に基づき機関長により委員会が設置され（第 4 章、第 5 条～11 条）、文部科学省基本指針に定める 3 種の属性を有する 7 名の委員により動物実験委員会が構成されている。また平成 26 年度から外部委員として獣医師 1 名を加えている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

文部科学省の基本指針に則した「武庫川女子大学動物実験規程」に則り、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等が適正に実施されており、それらに必要な書類も整備されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「武庫川女子大学動物実験規程」「武庫川女子大学組換え DNA 実験安全管理規程」「バイオセーフティ規程」「緊急災害時対応マニュアル」が定められ、組換え DNA 実験安全管理委員会、バイオセーフティ委員会の下で安全管理体制が構築されている。ただし、組換え動物等の使用にあたっては組換え DNA 実験安全管理規程により適正に運用されているが、組換え動物を使用する際の細則が不十分である。また、動物実験に使用する毒・劇薬に関しては法令に基づいて適正に管理されているが、動物実験に特化した細則やマニュアルが整備されていないことから、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

組換え動物の使用、有害化学物質の使用等に関し、動物実験に特化した安全管理、事故対応等のマニュアルを整備されたい。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

飼養保管施設は中核施設である薬学部実験動物センターおよび生活環境学部動物実験施設の 2 か所に設置されており、動物実験委員会委員をそれぞれの施設の実験動物管理者として指名している。よって、検証の結果、「基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

特になし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

意見

特になし。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験委員会は、動物実験計画の審査、飼養保管施設の審査等を行い、必要な指導、助言も行っており、議事録も保管されている。また、委員の教育訓練により円滑かつ適正な審査を図るなど、意欲的な取り組みも認められる。よって、検証の結果、「基本指針に適合し、適切に機能している。」とする。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>審査の効率化、委員の研修等に関する取組をさらに進められたい。</p>

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>平成 25 年度 65 件の動物実験計画書の申請、100%の報告書の提出率であり、審査の迅速化、動物実験責任者への指導、安全管理や衛生管理の推進など、細部の改善が継続的に行われている。よって、検証の結果、「基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。」と判断する。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない
2) 自己点検・評価の妥当性
安全管理上、問題となる事例や事故報告はなく、安全に動物実験が実施されている。よって、検証の結果、「該当する動物実験が適正に実施されている。」とする。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない
4) 改善に向けた意見
安全に実施されていることの確認、記録等の取り組みをさらに進められたい。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
調査時には施設ごとに飼養保管手引きおよび緊急時対応マニュアルに沿って適正に管理がなれており、微生物モニタリングも年間を通して、定期的に行われている。よって、検証の結果、「基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し適正に実施されている。」とする。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
飼養保管状況のチェック表や統一的な手順書の作成等の取り組みをさらに進められたい。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
薬学部動物実験センターは適正な維持管理がなされており、空調設備等の保守・点検は定期的に行われている。しかし、生活環境学部動物実験施設には維持管理に問題があり、構造上修理の必要な箇所が散見される。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
それぞれの施設ごとに完結することなく、機関長（管理者）が一元的に維持管理の状況を把握できる体制を構築されたい。また、生活環境学部動物実験施設は改修し、この施設専属飼養者の配置を図られたい。

6. 教育訓練の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性
動物実験責任者、動物実験実施者および飼養者を対象として、動物実験委員会が講習会を実施している。講習会資料、実施記録、参加者一覧の資料が整備・保管されており、基本指針に則した教育訓練が実施されている。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見
特になし。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

自己点検・評価は、概ね適切に実施されていると判断される。しかし、開示情報が国立大学法人動物実験施設協議会と公私立大学実験動物施設協議会の要請による項目に照らして十分とはいえないうえ、ホームページ上の閲覧が困難である。よって、自己点検・評価の結果は、妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

情報公開について、国立大学法人動物実験施設協議会と公私立大学実験動物施設協議会の方針に沿って開示情報を充実させるとともに、閲覧が容易になるように改善されたい。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

意見

実験動物の飼養保管については、兵庫県条例に基づく届出を行い、立ち入り調査や県主催の教育訓練も受けている。今後共、行政への必要な手続きを確実に実施されたい。



検証実施証明書

武庫川女子大学
学長 糸魚川 直祐 殿

貴機関は、国立大学法人動物実験施設協議会
及び公私立大学実験動物施設協議会による
「動物実験に関する相互検証プログラム」に
よる自己点検・評価を行い、その結果に対する
検証を本委員会が実施したことを証します

平成27年3月25日

国立大学法人動物実験施設協議会・
公私立大学実験動物施設協議会
動物実験に関する相互検証プログラム

検証委員会 委員長

